



リア王

彩の国シェイクスピア・シリーズ第19弾



【NINAGAWA 十〇回】

巻頭

（財）埼玉県芸術文化振興財団 芸術監督・清江崇

小栗旬 × 蜷川幸雄

4大悲劇『リア王』

現代に投げかける“人生の答え”とは

これまで数々の蜷川シェイクスピア作品に翻訳者として関わってきた松岡和子さん。ここでは『リア王』の名台詞をいくつか引用しながら、劇の核心について解説してもらった。

文=岩城京子 (フリーライター)

KING Lear

リア王 (平 幹二郎)



Cordelia コーディリア (内山理名)

STORY

古代ブリテン、老齢に達した国王リアは白らの引退を宣言し、三人の娘を呼び集め「親を思う気持ちが最も深い者に、最も大きな贈り物を授ける。」と言い放つ。長女ゴネリル、次女リーガンは美辞麗句で父を称えるが、末娘コーディリアは素直な気持ちを伝え、父の怒りを買う。リアに勘当されたコーディリアはフランス王の求婚を受け宮殿を去り、王の乱心をいさめようとした忠臣ケン伯爵も国外追放を言い渡される。

リアの臣下、グロスター伯爵の嫡男エドワードは、父の財産と地位を狙う私生児エドモンドの策路にはまり、気遣い乞食に姿を変え荒野へ逃亡する。一方、手のひらを返したようなゴネリルとリーガンの冷酷な仕打ちに絶望の淵に突き落とされたリアは正気を失い、道化だけを伴い荒野をさす。嵐の荒野、風雨の中にリアの咆吼が響き渡る。そしてリアとグロスター、二つの家族全員に残酷な運命が待ち受ける……。

三女

次女

長女

愛人

Regan リーガン (とよた真帆)



Goneril ゴネリル (銀粉蝶)



誰か教えてくれ、俺は誰だ?

(第一幕 第四場 リア)

リアの影

(第一幕 第四場 道化)

知恵がつかないうちに 年取っちゃいけないんだよ。(第一幕 第五場 道化)

ああ。必要を言うな。どんなに卑しい乞食でも 貧しさのどん底に何か余分なものを持っている。

(第二幕 第四場 リア)

Fool 道化 (山崎 暁)



Earl of Kent ケント伯爵 (窪川哲朗)



Earl of Gloucester グロスター伯爵 (吉田鋼太郎)



庶子

嫡子



Edmund エドモンド (池内博之)



Edgar エドガー (高橋 洋)

松岡和子さんが『リア王』を読み解く!

読む人の年齢に応じて、心に迫る台詞が変わる。それが『リア王』のひとつの特長だと思います。私自身もシェイクスピアの翻訳に携わるようになって、ことあるごとに戯曲を読み返しますが、そのたびに自分の目に拡大されてくる台詞が異なる。最近では私も年齢的に“逆算の境地”に入ってきたせいか(笑)、ここで描かれる「古い」の問題に非常に強く惹かれます。

例えば、冒頭の国譲りの場。なぜあそこでリアは姉妹二人の甘言にばかり耳を傾けて、本音を言うコーディリアに怒りを向けるのか。これは誰もが一度はいぶかしくもことでしょう。でも、実はそれが「古い」なんです。これは亡くなった劇作家の秋元松代さんが仰ったことです。耳に心地いい話しか聞こうとしなくなる、それが他でもない「古いの始まり」だ、と。シェイクスピアはそのことを、開幕早々にパンと提示してみせる。それにこの古い問題は、ゴネリルやリーガンなど次世代の人たちの視座に立てば「老害」としても受け止められます。今どき流行らない家父長的なオヤジさんがいつまでも権力を手放そうとせずについて、周りの若者が迷惑がっている(笑)。それでリアは1幕5場で道化にくち恵がつかないうちに年取っちゃいけないんだよ>とグサリと突かれる。これは私自身も肝に銘じている、とても好きな台詞のひとつです。

でも、もしかすると私が一番好きな台詞は4幕6場のリアの言葉かも。数あるシェイクスピア悲劇のなかでも副筋があるのは『リア王』だけです。主筋であるリア&三人の娘の物語と、副筋であるグロスター&二人の息子の物語が、このドーヴァーの場面でびたっと交差する。正気を失ったリアが目を見失ったグロスターの手を取ってこう言う。<お前のことはよく知っている。お前の名はグロスター>。これは今の英語で言えば<I know you well enough, your name is Gloucester.>。本当に中学校レベルの平易な英語! シェイクスピアは、こんなシンプルな台詞にこの芝居のなかで最も劇的な知的行為、つまり「KNOW = 認識」を託しているんです。リアもグロスターもこれだけの代償を支払ったからこそ、ようやくこのドーヴァーの場で「認識」に至れる。私には、ここで初めてリアは「おじいちゃん、もう知恵がついたから年取っていいよ」と道化に許してもらえた気がする。リアはある意味では“解放”されて死んでいく。ですから『リア王』は決して絶望的で悲惨なだけの悲劇ではありません。確かに現実を認識するのはとても辛いことです。でもそれを知ったからこそ、リアはコーディリアとの再会の場で最高の歓喜を味わえる。シェイクスピアは「相手を認識する」家族の再会を、喜劇とロマンス劇でしか描いていません。唯一の例外は『リア王』。だから『リア王』は私に言わせれば「幸福な悲劇」なんです。

松岡和子 (まつおか かずこ)

1942年田沼郡新井(長春)生まれ。東京女子大学英文科卒業。東京大学大学院修士課程修了。翻訳家・演劇評論家。著書に『すべての季節のシェイクスピア』『シェイクスピア「もの語り」』、訳書に『くたばれハムレット』(P.ラドニツク)、『ローゼンクランツとギルデンスターンは死んだ』(T.ストッパード)などがある。現在、シェイクスピア戯曲の全訳に取り組み中。訳書に『ハムレット』『ロミオとジュリエット』『マクベス』『リア王』『夏の夜の夢』、関連の真面目な十二夜『リチャード三世』『ランベス』『ウィンザーの囃気な女房たち』『ヴェニスの商人』『ベリクリス』『タイタス・アンドロニカス』『コロレリナス』『オセロー』「お気に召すまま」(以上15本、筑摩書房・ちくま文庫)





interview

MIKIJIRO HIRA / RINA UCHIYAMA

文=岩城京子 (フリーライター)

最後の勝負と感じる中で、 今表現したい“無のリア” 平 幹二朗

リアを演じるのはこれで3度目になります。この役は年をとればとるほどよくなる部分もありますが、どうしても体力的なりミットというものがある。ですから今回それがパスできるかどうか。蛭川さんは過剰な方ですから(笑)。「嵐の場面」などはそうとう激しい演出をなさるでしょうし、私も強さで売ってきた部分があるので「少し抑えてよ」とは言いにくい。今回が体力的にはぎりぎりのところで、最後の勝負になると思います。

今回、再びリアを演じることで僕はシェイクスピアの四大悲劇をすべて3回演じたことになります。しかしなぜ僕は、これほど激しい悲劇ばかりに惹かれるのか…。実際に演じているとき

は息も絶え絶えで「どうしてこんな死ぬ思いまでして演じなければいけないんだ」と思うようなこともあるんですよ。ですけどしばらく経つと、ふとまた同じ刺激が欲しいと思いはじめます。またそうした舞台上で勝負がしたくなるんです。ですからまあ、これはもう一種の症候群なんですよ(笑)。

失う虚しさを噛みしめて

リアはもちろん「老い」の問題を扱った芝居であり、普遍的な「親子」の問題を扱った芝居であり、これ以上ない究極の悲

劇です。ですが僕のなかでは今回、様々なものごとを「失っていく」というテーマに焦点を定めて進んでいきたいという想いがあります。それは別に失ったことをセンチメンタルに嘆き悲しむ芝居を見せたい、というわけではありません。そうではなく、失ったことを自覚して、その虚しさを噛みしめて、結局行きつくところは“無”であるという。そんな表現に達したい。もちろん演出的には無で終わってしまえば、あまりにデスペラート(絶望的)なので、次世代に光明が見つかるといふ終幕に辿り着くとは思いますが、リア個人に関しては、無の底に到着して終わりたいんです。

人生の果てに辿りつく“無”

以前2度演じたときは、やはりまだ少し若かったんですかね。5年前と10年前ですが、どちらかというとリアが行きつくところに怒りや恨みや哀しみがあつた。しかもその哀しみも、自己憐憫。自分は可哀想だなあと。そういう甘いところがまだ少しあつた。でも今回はあまりそうした哀しさを表に出したくない。

自己憐憫さえなくて、無のどん底で死んでいきたいんです。僕自身生きて来たことには満足していますけれど、やはり長い人生の果てに行き着いたところは……。無という感じがすごくするんです。ですから今は「無のリア」にとっても惹かれてる。でも実は個人的には、その無の先にある光にまで辿り着く『テンベスト』が一番シェイクスピアのなかでは好きな作品なんです。ですからこのリアを無事終えられたら、また『テンベスト』をやりたいなっているかもしれませんね。

平 幹二朗 (ひら みきじろう)

1933年広島県出身。俳優座では千田是也氏に師事。退団を機に浅利慶太演出の「ハムレット」に出演。新規地を開く。その後「王女メディア」「近松心中物語」等蛭川幸雄演出の作品にも多く出演。海外でも高い評価を得た。その後病を経て約10年後、蛭川氏と再会「王女メディア」「テンベスト」等の再演、新作「クリクス」など氏とのコンビが復活。一方、自らが主催する「幹の会」でシェイクスピア全作品の上演をライフワークとし、現在10作品目を数える。



共感を覚える コーディリアの“硬質感” 内山理名

コーディリアという女の子は世間の世慣れた大人たちからすると「強情な性格の持ち主」だと判断されがち。ですけど私には逆にその強情さが、かわいさや純粋さや無邪気さに思える。普通の大人だったら言葉遣いだったり、話し方の順序だったり、相手にどう受け止められるかだったり、そういったことをまざまざ計算してから言葉を口にしますが、コーディリアはあまりにも無邪気で怖いもの知らずだからこそ、唐突に要点だけをバツと言ってしまう。だから父親に私のことをどれほど愛しているか語ってくれと言われたときに「何もない」と、いきなり言ってしまう(笑)。確かにこれは決して器用な生き方ではありません。ただ私にはそんなコーディリアの無邪気さが、とても愛らしく思えるんです。それにどんなに無器用な生き方であれ、自分の信じたこと

を死ぬまで貫き通すなんて、むしろカッコいいとさえ思えます。ですから私個人としては彼女の生き方が、わりと嫌いじゃないんですよ。

内山理名 (うちやまりな)

1981年神奈川県出身。98年、フジテレビ「美少女H」で女優デビュー。その後、TBSドラマ「すずらん」「ハンドク!!」など多くの話題作に出演。「大奥～華の乱～」で「藤原の一生」に映画「サトラレ」卒業「深紅」、2007年テレビドラマ「生徒諸君!」などに主演。07年秋テレビ朝日系松本清張ドラマスペシャル「点と線」鳥飼つや子役出演。06年度エランドール新人賞受賞。
http://www.uchiyama.net/



●●●● PLAY ●●●●

彩の国シェイクスピア・シリーズ第19弾 『リア王』

【日時】2008年1月19日(土)～2月5日(火) 全18公演

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

【演出】蛭川幸雄 【作】W.シェイクスピア 【翻訳】松岡和子

【出演】平 幹二朗 / 内山理名 とよた真帆 銀粉蝶

池内博之 高橋 洋 瀬野俊太 山崎 一 / 吉田剛太郎 磯川哲朗 ほか

【チケット(税込)】好評発売中

一般：S席10,000円/A席7,000円/B席5,000円/学生席2,000円

メンバーズ：S席9,000円/A席6,300円/B席4,500円

2008年1月	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	2月 1	2	3	4	5
曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
12:00																		
13:00																		
18:00																		
18:30																		

【観客見学会】2008年1月12日(土)13:00～予定 【プレトーク】2008年1月22日(火) 河合祥一郎氏によるプレトークあり 【バックステージツアー】2008年1月23日(水) 公演終了後【アフタートーク】2008年1月31日(木) 公演終了後出演者によるトークあり(talk-talk talk 第10回) 詳細は財団ホームページにて <http://www.saf.or.jp/>

● 特別インタビュー第10回 ●

NINAGAWA 千の目

9月15日、女性客で満員の会場に登場した小栗 旬さんに注がれたファン熱視線

しかしそれに負けない蜷川幸雄の小栗さんへの熱く“大きな期待”が、そして“見守る温かさ”が溢れたトークのひとつとき。

俳優・小栗 旬の未来に思いを馳せた。



(財)埼玉県芸術文化振興財団 芸術監督・演出家

俳優

蜷川幸雄×小栗 旬

最初から「ハムレット」をやらせようと思っていた

蜷川 (以降N) 初めて小栗と挨拶をしたのは、シアターコクーン
の楽屋で5~6年前だったと思うけど。

小栗 (以降O) はい。多分『唐版滝の白糸』だと思いますが。

N 藤原竜也の楽屋の手前の廊下のところに立っていました。
ちょっと格好いいなと思うのと、利口そうだなと思いました。ま
あ時々間違えるのですが。(笑い) それで小栗と仕事してみよ
うかなと思ったんです。初めて一緒に仕事をした『ハムレット』は
何年前?

O 二十歳のときなので、今から約5年前です。

N 『タイタス・アンドロニカス』は?

O 『タイタス・アンドロニカス』は去年です。

N 去年か。『ハムレット』から『タイタス・アンドロニカス』
に行くときやっぱり全然違うね。僕はこの間彼のフォーティンブラスを見直して、あの時はいいと思ったけど、小栗はまだやれる
ことはたくさんあるなと思いました。それで『タイタス・アンドロ
ニカス』を見るとまだまだこれだけ成長するのかと、思いました
ね。明らかに違うよね。

O そうですね。

N 実は、最初の『ハムレット』では「小栗、ハムレットがで
きるように台詞を覚えておけよな」と言ったんです。藤原君の
ハムレットもいいけれど、ある日突然小栗のハムレットに切り
替えようかと思って。それで小栗のハムレットがよかったです。藤
原君と交互にやりながらどっちがいいか競わせたいなと思いま
した。ところが、そのときも小栗はしり込みしていた。チキンレ
ースで負けたんです。(笑い)O もう本当に恐れ多いと思っていましたよ。目の前で藤原君
の芝居を見ていて、ちょっと今は「ハムレットをやりたい」なん
て言うてはいけないと本当に思いました。

小栗、おまえはそんなところで生きるな

N 小栗には、最初俺はトップではなくていい、2番手が3
番手、もうちょっと楽なところに行きたいところがあった。
僕はそれに立ってました。「このばか。そんな楽
なところで生きるんじゃないよ」と思っていました。小栗は格
好がよくて、芝居もうまくて、役をつくるというにはある角度
があるが、その角度のセンスがちょっといい。「いずれはちゃんと主役をやらなきゃな、ちゃんと次の演劇
界を担ってくれなきゃ」と僕は思って、これをやれよ、あれを
やれよと渡した。『タイタス・アンドロニカス』は、イギリスの
ストラットフォード・アポン・エイボンというシェイクスピアが
生まれてそして亡くなった場所にある、ロイヤル・シェイクスピア
シアターという劇場でもやりました。その舞台上立つのは、
以前に真田広之さんが出たことがあります。それ以外の日本
人のカンパニーがそこでやったのは初めてで、とても記念す
べきことなんです。その時小栗はものすごく評判がよく、芝居
の上がりも、演技もとてもよかったです。それで多分自信を持った
と思うけれど、その時の心境をちょっと教えてくれないかな。

O そうですね…

N 吹けよ。(笑い)

O あのイギリスの評価は本当に素直にうれしかったです。

N 例えば小栗がカーテンコールへ行くと「ワァーッ」となるわ
けです。劇評でももちろん褒められているから、町を歩いても
そうですね。ほら、もっと言えよ。O 『タイタス』のエアロンもさいたまの初めのほうの時は、ま
だちょっと自信がなかったんですが、その後新湯で僕は蜷川
さんに1000本ノックを1回受けたじゃないですか。あの後から
ですね。やっぱりちょっと自信を持つようになったのもそうだし、
自分の中でちょっと気持ち悪かった部分を取り除かれて「あ、
行けるな」という感じがあった。そのままイギリスに乗り込んだ
ので、そういうふうに出てもらえたのは、やっぱり本当に「やっ
てやったぜ!」という感じでしたね。N 芝居はいいものであっても、長い間やっている間に少しず
ついろいろと変質してってしまうものなんです。その1000本
ノックについて言うと、けっこう労力とエネルギーがいるもので、
面倒くさかったと思うが、よく耐えていた。O その日は「ばかやろう、この淫売が!」というせりふを50
~60回言われて。「ばかやろう、この淫売が!」、「はい、だめ。
もう、1回」という…

N ですって。(笑い)

「小栗、次のステップに行くんだぜ」

N この前『お気に召すまま』と一緒に仕事をしていた時には、
三つか四つ他の仕事も抱えて忙しくて大変だったでしょう。

O 正直、本当に大変でした。ゲネプロの日まで雑念がなく板

ほかのジャンルでは用意できない高いハードルを小栗のために用意したい。(蜷川幸雄)

の上に上られた日がなかった。『お気に召すまま』をやっている
のにどこかで違うことを考えているとか、芝居している最中に台
詞は出ているけれども自分の感情は全然それに追いついていっ
てないとか、そんなことは僕自身初めてでした。稽古をやっている
時は絶対にそれだけに集中していたし、そこしか見えていない。
それに対して応えたいと思ってやっていたけれども、体もついて
来なければ心はもつとついて来ていなくて。だから稽古をやっ
ている最中も、目の前で3年前からの成宮君の成長みたいなもの
を突きつけられて「ああ、ナリすごいな」というところからど
ん卑屈になっていくというか、「何やっているんだろう、俺」と
いうことでネガティブな思いまで膨らんできて、つらかったです
ね。N 多分大変だろうとは思いついてはいたけれど、小栗が
それを人に悟らせないようにこなしただけはいいな僕は思ってい
るわけ。時代に欺いて、とっぽく生きてほしいな僕は思っている。
次は、僕たちは『カリギユラ』という芝居をこの劇場ではなく
シアターコクーンでやります。難しく詩的で格好いいが、狂っ
た王様の話で、これは「小栗、ちょっと次のステップへ行くんだ
ぜ」という感じが僕にはあります。僕自身も余りやっていない室内
劇で、このころ脚本を読んで、「まいったな、大丈夫かな」と
正直思っているんだよ。O 『お気に召すまま』で1回よくわからない自分と出会うて、
今カリギユラという役を自分のものにしてちゃんと立てるのかと
いうのは、本当にちょっと恐怖ではありますね。でもそうした蜷
川さんがいるとなると、逆に最初の稽古のスタートでは、これだ
たらいけるかもしれない、という状態に自分を作っておかないと
いけないと思いましたよ。N うれしいね。この芝居では、沼の底に沈んだように世界を
見てやりたい、こんなうすら汚い世の中は拒絶したいと思ってい
ることを、逆説的に狂ったほうが何を求めていたのか、美しいも
のとは何と考えていたかということができたらいいな、と思ってい
るんだ。O 正直に言ってこの脚本を読んだ時、すぐに理解できる話で
はありませんでした。今現在もカリギユラが考えていたことに対
して、どうアプローチをしてくか、どういうふうにかけていくか
は模索中です。でもこの『カリギユラ』という芝居で、一度
自分の24年間の、もうすぐ25年ですけど、その自分自身の集
大成としてやりたいなという思いが生まれています。

N 期待しているよ。(笑い)

profile: 小栗 旬 (おぐり しゅん)
1982年生まれ、T.V.映画、舞台と幅広く活躍。TBSドラマ「花
より男子」花沢類役でその人気を不動のものにする。映画では
公開中の『キサラギ』(監督:佐藤祐市)、『クローズZEROII』(監
督:三池崇史)と主演が続き、蜷川幸雄の舞台で『HAMLET』
(2003年)、『お気に召すまま』(04年、07年再演)、『間違いの舞
臺』(06年)、『タイタス・アンドロニカス』(06年)に出演。現在は
『カリギユラ』に出演中。



interview

TATSUYA FUJIWARA

復活の闘いへの期待
藤原竜也

ロンドンでの鮮烈なデビューから10年。藤原竜也が、この伝説のデビュー作「身毒丸」(蜷川幸雄演出)に帰ってくる。15歳から25歳へ。蜷川の元で成長してきた彼が、次に起こす奇跡とは。

文=瀬崎久見子

彩の国さいたま芸術劇場とは、縁が深い。ロンドン公演の後、「身毒丸」で日本デビューを飾った場所であり、しかも生まれ育った埼玉県にある。「やっぱりこの劇場は落ち着きますよ。広い廊下を歩いている時なんか、ああ、ここでデビューしたんだなって思う。」

そう言ってほほ笑む藤原の姿は、しかし10年前の少年の姿ではない。すっかり青年の面差しだ。見上げるような背丈も、デビュー時から6センチ伸びた。藤原も認める。

「15歳と25歳では経験も、ものの考え方も感情も違う。「身毒丸」をやるとなれば、細胞に埋め込まれたものを一度、解放して新しいものを作るしかないでしょうね。」

再演にはある意味、新作以上の難しさがある。

「蜷川さんと稽古場で話し合いながらの作業になりますが、前の演技をなぞっては絶対にダメでしょう。体の中にあるものを一度、閉め出さない」と。以前、やはり蜷川演出の近代能楽集「弱法師(よろぼし)」(三島由紀夫作)の再演で、苦労したことがあるのだという。同じ舞台の反復は許されない。しかし一方で「身毒丸」は15歳の、真っ白な状態の藤原に最初に刻印された作品だ。2002年の再演で一度「封印」してもいる。それをまたイチから作り直すとなると、苦闘は目に見えているのだが。

それでも、「蜷川さんと仕事ができるうれしさがある」。この喜びは何にも勝るといえる。「蜷川さんは自分を作り上げてくれた方ですし、3分でも5分でも話す勉強になる方。それにいつも僕の5年後、10年後を見据えて芝居作りをしてくれます。蜷川への絶対的な信頼を示す言葉は、いつまでも口からあふれる。それにもう一つ。今回は、「アメリカの観客と出会うチャンスもある」。再び、キラリと目が輝いた。彩の国さいたま芸術劇場での舞台の前には、ワシントン・ケネディセンターでの公演が予定されている。

「お母さん!もういちど、ほくをにんしんしてください」。主人公のこの悲痛な叫びで知られる「身毒丸」は、互いにギリギリのところまで追いつめ合う母子の愛憎劇だ。10年前は、「お母さん!」というセリフだけで何百回叫んだか分からないという。「何度言っても蜷川さんに『もっと肚の底から』と言われて」。

こうした、感情を爆発させる演技は藤原の特質となっていくが、昨年のギリシャ悲劇「オレステス」(蜷川演出)では「感情を肚にためて、論理で観客を納得させる技術」も身に付けた。次の「身毒丸」は、感情と論理、この2つを兼ね備えた存在になるのか。

否、こうした理屈を超えて、藤原と蜷川が組むと、絶対に何か起きる。これまで、いつも、そうだった。そのことだけは、今度も裏切られることはあるまい。

cast profile



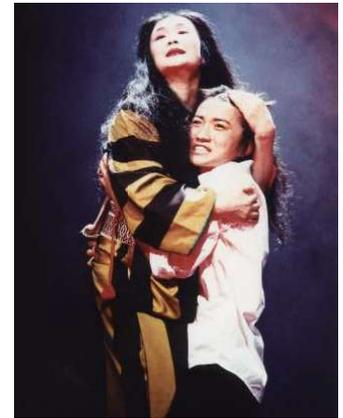
藤原竜也
(ふじわら たつや)

1997年「身毒丸」(蜷川幸雄演出)で初舞台を踏む。以後多くの蜷川演出舞台に出演している。また野田秀樹演出「オイル」(ロブ)、グレゴリー・ドラン演出「ヴェニスの人」などの舞台や映画でも活躍しており、金子修介監督「デスマート」は大ヒットを記録した。第38回紀伊屋演劇賞 個人賞(2004年)、第3回 朝日舞台芸術賞 寺山修司賞(2004年)、第11回 読売演劇賞 優秀男優賞・杉村春子賞(2004年)など、数々の賞を受賞している。



白石加代子
(しろいし かよこ)

早稲田小劇場(SCOT)を経て現在に至る。主な舞台出演作品に、「メアリー・スチュアート」「常陸坊海蔵」「ミザリ」「リア王」「おやすみ、母さん」「源氏物語」「百物語」など、多数ある。観劇者記念法政大学演劇賞受賞、読売演劇大賞優秀賞(第一回及び、第三回)、スポニチ文化芸術大賞優秀賞、芸術選奨文部科学大臣賞など数々の賞を受賞。2005年紫綬褒章受章。蜷川演出舞台では「夏の夜の夢」「身毒丸」「パクリーズ」「コリオリイナス」などに出演。



1997年「身毒丸」初演 ©池上康哉



2002年「身毒丸」ファイナル ©西村将

●●●● PLAY ●●●●
しんとくまる
『身毒丸』復活

【日時】2008年3月7日(金)～4月10日(木) 全40公演
【会場】彩の国さいたま芸術劇場 大ホール
【作】寺山修司 / 岸田理生 【演出】蜷川幸雄
【出演】藤原竜也 白石加代子 ほか
【チケット(税込)】 好評発売中
一般：S席9,000円 / A席7,000円 / B席5,000円
メンバーズ：S席8,100円 / A席6,300円 / B席4,500円
※本公演の当日券はメンバーズ料金の適用がございません。

2008年3月	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
13:30	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休
14:30	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休
18:00	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休
19:00	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休
2008年4月	25	26	27	28	29	30	31	休	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
曜日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
13:30	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休
14:30	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休
18:00	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休
19:00	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休	休

死の天使 —創造者の秘密

文=長谷川祐子 (東京都現代美術館事業企画課長)



ヤン・ファブルが現代美術の巨星ウォーホルにみた不滅と死のイメージ。ウィリアム・フォーサイス扮する天使と美しい悪魔との対話が、映像とダンスとで繰り広げられる、このうえなく美しいダンス・インスタレーション・パフォーマンス。

ウォーホルと死

アンディ・ウォーホルはいう。

If you want to know all about Andy Warhol, just look at the surface: of my paintings and films and me, and there I am. There's nothing behind it.

(アンディ・ウォーホルについて知りたければ、見えるがままを見ればいい。私の絵、映画、そして私。それが私自身だ。それ以上は何もない。)

彼はアメリカ60年代のアイコンとなった。大半の彼のセルフポートレートは、無表情で、死化粧をほどこしたかのように生気がない。エレガントにウエイブのかかった銀髪のかつらをかぶり、デイトリッヒ風の眉をかきメイクをして女装したセルフポートレートは冷たく挑発しながらこちらを見つめている。

ドウレラ (ドラキュラ+シンデレラ) というニックネームが示

すように、ウォーホルは死とセレブリティに対して強い関心をもっていた。世界のセレブのポートレート、輝かしいスターダストをちりばめ、鮮やかなグラフィック処理がされたアイコンと、事故や処刑用の電気椅子一死のイメージの生産は、相乗してスリリングに時代を照射した。セレブの微笑みはその華やかさと虚栄ゆえに死の匂いがする。

創造者のメタファーとしての「天使」

キュレーター、マーク・フランシスは、ウォーホルをオスカー・ワイルド、デュシャンなどのダンディズムの系譜におきながら、「ロシア文学に伝統的にみられる「聖愚者」、これは道化師であり、予言者であり、信心深い人間でもあるがまたラディカルな皮肉屋でもある」と表現している。

ゲイで両性具有的な「聖愚者」、不滅のアイコンの輝きとともに死をもたらす天使のイメージ—ヤン・ファブルは1996年にウォーホルをテーマとして「死の天使—ある男または女または両性具有者のためのモノローグ」と題されたテキストを書き上げた。今回の「死の天使」はこのテキストをもとにしたイヴァナ・ヨゼクのソロダンスパフォーマンスと、ビデオインスタレーションを組み合わ

せた実験的な作品である。黒い下着だけをつけたヨゼクの鍛えられたしなやかな身体を舞台の中心に、4面の大きなスクリーンが囲む。

ヨゼクは身をよじりながらおきあがりモノローグを開始する。最初はウォーホルの精神が宿る。最初の言葉「私は死から舞い戻った」無数のシャッター音、自分の目を撮影し続ける事、イメージ、スターたち…。背後のスクリーンはどこかの博物館の一室を映し出している。(モンペリエの解剖博物館) 中央の通路と両側の古い木造のヴィトリース。通路から第2の精神であるウィリアム・フォーサイスが現れる。無表情でいくぶん悲しげな彼の姿。やはり両性具有的な感性をもち、見られる事—自分の姿が多くの人々にさらされることと、内的な創造の世界の住人でありつづけたという葛藤が示される。ヨゼクの身体は彼の精神に出会い一体化し、踊る。そしてファブルの精神との出会い—解剖博物館内のシャム双生児や生体標本が映し出される中、カメレオンや動物たちのことが語られる。最後にはこの三つのアイデンティティが混在し、ステージは、観客と直面すべきかどうかという、生と死の世界、創造のカオスが渦巻く虚無の世界となる。跳躍—フォーサイスの最後の跳躍とヨゼクの跳躍が記憶に残る。

複雑で鮮烈で美しいこのダンスパフォーマンスは同時に時間を取り込んだインスタレーションである。観客の視線によって与えられる鮮烈な生と対照的に、絶えず死の虚無と闇を内包する創造者の奥深さ—ウォーホルとフォーサイス、ファブルを横断する創造の秘密が「天使」というメタファーとともに、激しく、優しく語られる1時間である。

profile Jan Fabre (ヤン・ファブル)

1958年ベルギー生まれ、パフォーマンス・アーティスト、演劇やオペラの演出家、振付家、作家、ビジュアル・アーティストとして作品を生み出し続ける。現代における最も革新的かつ多才なアーティストの一人。主な作品に、ヴェネチア・ビエンナーレで発表された「劇的狂気の力」(1984年)、「タンホザー」(2004年)など。昨年度、彩の国さいたま芸術劇場で上演された、「主役の男が女である時」、「わたしは血は、大きな話題を集めた。

●●●● DANCE ●●●●

ヤン・ファブル 『死の天使』(ソロ・ダンス)

【日時】2008年2月8日(金) 開演 20:00

9日(土) 開演 14:00 / 18:00

10日(日) 開演 14:00

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

【演目】『死の天使』(上演時間:50分) 【構成・演出・テキスト】ヤン・ファブル

【振付】ヤン・ファブル イヴァナ・ヨゼク

【出演】イヴァナ・ヨゼク ウィリアム・フォーサイス (映像出演)

【チケット(税込)】 好評発売中 全席自由 一般:4,000円 メンバーズ:3,600円

※大ホール舞台上に置かれたクッションにお座りいただきます(150名限定)。

観の自由なお客様は、当日、係員にお申し出ください。



videodance 2008 シリーズ2

心ゆくまでダンスにひたる3日間

世界のダンス映像を一挙で紹介する『videodance』。2シーズン目の今年は、フィジカルかつパフォーマンス的なダンス作品を中心にプログラムを構成、国内未公開のフィルムを含む充実のラインナップです。ヤン・ファブル『死の天使』で緊迫感溢れるライブに陶酔、そして『videodance』では貴重な映像に接する興奮を味わえる。このうえなく贅沢な3日間が過ごせそう。

2008.2.8 fri

『コーヒー・ウィズ・ピナ』(2006年)

振付:ピナ・バウシュ

出演:ピナ・バウシュ ヴッパタル舞踊団

『ヴェロニク・ドワノー』(2006年)

演出・監督:ジェローム・ベル

出演:ヴェロニク・ドワノー (パリ・オペラ座バレエ団)



「コーヒー・ウィズ・ピナ」©Leo Yanor

2.9 sat

『ボディ・ボディ・オン・ザ・ウォール』

(1997年)

振付・監督:ヤン・ファブル ヴィム・ヴァンデケイビュス

出演:ヴィム・ヴァンデケイビュス

『ヒア・アフター』(2007年)

振付・監督:ヴィム・ヴァンデケイビュス

出演:ヴィム・ヴァンデケイビュス 他

『メビウス・ストリップ』(2002年)

振付:ジル・ジョバン 監督:ヴィンセント・プラス



「ヴェロニク・ドワノー」©Isare

2.10 sun

『トリコテックス』(2006年)

振付:フリッパ・ドゥクフレ

出演:国立リヨンオペラ座バレエ団

『白雪姫 エピソード#1』(2005年)

監督:キャサリン・ベイ

『ヴェロニク・ドワノー』(2006年)

演出・監督:ジェローム・ベル 出演:ヴェロニク・ドワノー (パリ・オペラ座バレエ団)



「白雪姫 エピソード#1」©Marc Domage

●●●● DANCE ●●●●

videodance 2008 シリーズ2

【日時】2008年2月8日(金) 18:00 ~ 19:30

9日(土) 15:30 ~ 17:30

10日(日) 15:30 ~ 18:00

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール

【チケット(税込)】 好評発売中 全席自由 1日券 前売:500円 当日:700円

日本昔ばなしにダンスで挑戦!!

日本昔ばなしのダンス

井手茂太ノ康本雅子

文 = 長野由紀 (舞踊評論家)

彩の国さいたま芸術劇場で「日本昔ばなしのダンス」公演が初めて行われたのは、去年の10月のことである。演目は、珍しいキノコ舞踊団の伊藤千枝の『へっこきよめ』と、コンドルズ(そして「こんどうさんちのたいそう」)の近藤良平の『ねずみのすもう』。お話の細部を尋ねられると自信はないが誰にとってもしっくりと懐かしい、そんな素材を二人の振付家が巧みに料理して、じつに楽しい公演である。

『へっこきよめ』は、“よめさん”を二人にし、なかば抽象化したところに伊藤の天才がある。おならで果物を木から落とすという、一番奇想天外でビジュアルな場面を「日本の昔」に限定されない、普遍的なユーモアとして解き放つ。そしてお尻を突き出すその動きは、今のセンスの「カワイクオシャレ」そのものだった。『ねずみのすもう』は逆に、見る者を物語世界に引きずりこむ。そのための冒頭の形態模写的ダンスは、田植えや囲炉裏端、清流で魚を捕える熊に鳥居&狛犬&おみくじの神社フルセットといった「懐かしい日本の四季メドレー」を三人のダンサーの身ひとつ(いや、三つ)で描き出して、圧巻だった。

どちらも笑いの底には、「身体に語る」というダンスの醍醐味がある。見てわかるだろうか、というのは初めてダンス公演に足を運ぶ人の多くが抱く不安だろう。だが、いい振付をいいダンサーが踊るとき、瞬時の、そしてピンポイントの伝達力の大きさは、時に理屈を超え、言語をしのぐ。大きな笑い声で反応していたこの日の子供客は、そのことをごく自然に理解したことだろう。大げさではなくそれは、人生を豊かにしてくれるパスポートを手に入れたようなものである。

この二人だったから成功したのかもわからない、次はどうなると思っていたら、今回の振付家の人選もそれに劣らず技ありである。井手茂太、康本雅子が手がけると『さんねんねたろう』『かみなりむすめ』がどんなダンスになるのか、じつに楽しみである。



『さんねんねたろう』

仕事もせずに三ねん寝つつけた寝太郎が、ある日ひよっこり起きあがると...

profile 井手茂太 (いでしげひろ)
人がついでしてしまう動きや行動を取り出して、出演者の個性を活かした振付と、ユニークな空間や場のつくり方で注目を集めている。自ら率いるイデビアン・クルー以外に演劇作品への振付など、ダンス界以外での評価も高い。

『かみなりむすめ』

(作: 斎藤隆介)

村の子どもたちとあそびたくて、親にないしよで下界におりたかみなりむすめの物語。

profile 康本雅子 (やすもと まさこ)
多岐に渡るジャンルにおいて振付や出演で活動する。演劇や映画、ミュージシャンのライブやPV等で振付をする他、自身の作品をVRと作りこれまでに韓国、イタリア、タイとマレーシアにて公演する。



●●●● DANCE ●●●●

『日本昔ばなしのダンス』 井手茂太 / 康本雅子

【日時】2008年1月19日(土) 開演 13:00 / 16:00
20日(日) 開演 13:00 / 16:00

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 小ホール

【演目】『かみなりむすめ』(作:斎藤隆介) 【振付】井手茂太 【出演】康本雅子 井手茂太
【演目】『さんねんねたろう』 【振付】康本雅子 【出演】井手茂太 康本雅子
【チケット(税込)】好評発売中
全席指定 大人(高校生以上):2,000円 子ども(3歳以上中学生以下):1,000円

メンバーズ会員になると 便利で楽しい特典がいっぱい!!

舞台芸術を愛してくださる皆様に、より楽しんでいただくための、彩の国さいたま芸術劇場、埼玉会館、熊谷会館の3館共通のメンバーズ制度。「便利」で「楽しい」メンバーズ特典をご紹介します!
既にメンバーズ会員の方も必読です!

ご入会希望の方は、メンバーズ事務局

048-858-5507

1 たっぷり満足メンバーズ料金
年会費2,000円。財団主催公演で3,000円以上のチケットが10%OFFのメンバーズ料金でご購入いただけます。

2 だんぜん有利メンバーズ優先予約
一般発売に先駆けて「メンバーズ」優先予約を実施。ご家族やお友達の方もまとめてご購入いただけます。
(※チケット代金のご利用限度額は、月額20万円です)
さらに人気の公演ではプレオーダーを行います。
(※プレオーダーは抽選です)

3 チケット購入・年会費はキャッシュレス
チケット代金・年会費はご指定の口座から引落。窓口購入、電話予約、インターネット購入はすべてキャッシュレスです。

4 話題満載の財団情報誌をお届け
財団情報誌「埼玉アーツシアター通信」(隔月発行)をお届け。音楽、舞踊、演劇、映像と各ジャンルの楽しい話題満載、読み応えたっぷりの情報誌です。

5 こんなに簡単チケット予約方法
電話一本でチケットをご購入いただけます。また、財団ホームページから便利なインターネットチケット購入もご利用いただけます。
(※事前にWEB会員登録(無料)が必要です)

6 使ってお得、ポイント制度
チケットを購入するとポイントがたまります。貯まったポイントはチケットと交換いたします。
(※チケット購入金額10円につき1ポイント。1ポイント1円にて換算されます)

7 安全・安心のセキュリティバックで
ご購入いただいたチケットは安全・安心のセキュリティバック(補償付き)を使い、ご登録のご住所にお送りします。送料は無料です。

8 その他
他にもお得な特典がいっぱい。公開対談・稽古場見学会のご優待。劇場内レストランでのお食事が2名様まで1割引でご利用いただけます。



彩の国エキシビシア・シリーズ第16弾「コロリナイス」の稽古場見学会の様子。

WEB会員なら「簡単」・「早い」インターネットでチケット購入!

ご存知でしたか? ホームページからWEB会員(無料)に登録するだけで、ご自宅や外出先のパソコンから、24時間いつでも空席状況が検索でき、チケットを購入することができます。観たい! 聴きたい! と思ったら、すぐにアクセス。ぜひこの機会に便利なインターネットチケット購入に切り替えませんか?

- ☀ 時間を気にせずいつでも購入
- ☀ キャッシュレスでらくらく購入
- ☀ メルマガで公演情報をいち早くキャッチ
- ☀ 気になる公演の空席状況をチェック

WEB会員登録は、財団ホームページ

<http://www.saf.or.jp/>



Wiener Ring-Ensemble

ウィーン・リング・アンサンブル

ウィーンの新春の香りをそのままに

ウィーン・リング・アンサンブルがさいたまにやって来る。
ウィーン・フィルの中心メンバー9人による小編成アンサンブルながら、
ウィーンならではの音楽～ワルツにポルカにオペレッタを、
本場ならではの表情と共に、楽しく届けてくれるのだ。

文=片桐卓也(音楽ライター)

新年恒例の音楽イベントと言えば、全世界に中継されるウィーン・フィルのニューイヤー・コンサートにとどめを刺す。その恒例行事に参加したばかりのウィーン・フィルのメンバー9人がそのまま日本にやって来る。まさにウィーンの新春の香りをそのまま届けてくれる演奏会だ。

ウィーン・フィルのニューイヤー・コンサートと言えば、ウィーンゆかりのヨハン・シュトラウスなどの音楽がメイン。これは1939年に往年の名指揮者クレメンス・クラウスが創始したもので、1955年からはボスコフスキーがずっと指揮をしていたが、カラヤンやクライバーなど、スター指揮者が次々と指揮台にあがることになって、世界的な注目を集めるようになった。特に、小澤征爾が指揮した時に、日本でCDが大ヒットしたのは記憶に新しいところだ。もともとウィーン市民を慰安し、励ますための特別音楽会だったから、演奏されるのはウィーンで活躍した作曲家、特に19世紀に大流行したウィーン・ワルツなどがレパートリーとなっている。

ウィーン・リング・アンサンブルは、そのウィーン・フィルのメンバー9人が作る小さな編成のアンサンブルだが、いかにもウィーンの街中で楽しめるような雰囲気を持っている。2008年のプログラムもいかにウィーンならではの、レハールの《メリー・ウィド

ウ・メドレー》やニコライの《ウィンザーの陽気な女房たち》序曲など、オペレッタの名作からシュトラウス親子のワルツ、ポルカなど盛りだくさん。こうしたウィーンの音楽の魅力は、ダンス用で軽快なものが多いということ。うきうきした気分は、まさに日本のお正月にもふさわしい。作品の由緒来歴を知らなくても、気軽に楽しめるところが、このコンサートの良いところ。ぜひウィーンの新春気分を日本でも味わおう。

profile ウィーン・リング・アンサンブル

ウィーンの内市街を取り囲む環状道路、「リング」にもなで命名されたこのアンサンブルは、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の名コンサートマスター、ライナー・キューヒルを中心として、ヴァイオリン2、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、フルート、ホルン各1とクラリネット2の9人編成。全員ウィーン・フィルの経験豊富なメンバーであり、彼らのウィーン情緒の濃い音楽は聴衆をこの上ない幸福感で満たしている。

●●●● MUSIC ●●●●

埼玉会館ニューイヤー・コンサート

ウィーン・リング・アンサンブル

【日時】2008年1月5日(土) 開演 14:00

【会場】埼玉会館 大ホール

【曲目】ニコライ:歌劇《ウィンザーの陽気な女房たち》序曲
ヨーゼフ・シュトラウス:天体の音楽 J.シュトラウスII:ポルカ《鈴》
レハール:《メリー・ウィドウ》メドレー はか

【チケット(税込)】 観覧券発売中
一般:S 席5,000円/A 席4,000円/B 席3,000円/学生B 席1,500円
メンバーズ:S 席4,500円/A 席3,600円/B 席2,700円

NAOKO SHIMIZU

深く温かな響きに充ちる 時間のなかに

文=青澤隆明(音楽評論)

クラシック音楽が教えてくれることはいろいろあるけれど、じっくりと時間をかけて自分自身や世界と向き合うことの大切さはそのひとつだ。文学であれ演劇であれ、古典の名がつく喜びすべてがくり返し告げてきたのは、人生はよく生きるに値するものであるし、人間存在の抱く問題は時代を超えても解決されることのない、という真実だろう。

清水直子のヴィオラが、不器用なまでの真率さで向き合いながら聴者に語りかけるのは、そうした音楽と人間の想像力への深い信頼なのかも知れない。自然な流れでヴィオラという楽器に出会い、そうしてともに歩み続けてきたのは、この楽器のもつ温かい音色や音の深さが、彼女の内心と強く共鳴したからだろう。

何をやるにしても、たとえばひとつひとつの家事をしているときも、ゆっくりと時間をかけて、とにかくいいに行いたい。清水直子はいつもそんなふうにする。彼女が慎重に言葉を選びながら話すのは、できるかぎり誤解なく精確に伝えたいと努めるからだ。そうした姿勢は、会話だけでなく、もちろん音楽表現を含めて、清水直子のライフのあらゆる場面で変わらないのだと思う。音楽家の日常生活など知る由もないが、彼女の演奏の真摯な温かみと誠実さは、そうしたゆったりとした歩みのなかから確実に立ち上がってくるものなのだろう。

オーケストラや室内楽のなかでは旋律だけではなく、ハーモニーの微妙な色彩や変化を支えるヴィオラという楽器の魅力は、多様な深みをもっている。ベルリン・フィルの首席ヴィオリストという彼女の職業が、多岐にわたる作品を手がける多忙な仕事であることは疑いない。しかし、だからこそ、そのなかでも清水直子が自分のペースをきちんと守りながら、彼女自身の音楽を深く温めていくことは重要だ。彼女が夫であるピアニストのオズガー・アイディンとライフ・ワークのように続けているデュオは、清水直子という人間の日々の充実を、最良の親密さをもって物語る心豊かな音楽の時間であるに違いない。

女性初のベルリン・フィル首席ヴィオリスト、その緻密にして豊潤なる響きに包まれる幸福

●●●● MUSIC ●●●● 清水直子 ヴィオラ・リサイタル

【日時】2008年2月2日(土) 開演 14:00 【会場】彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

【出演】オズガー・アイディン(ピアノ)

【曲目】シューマン:おとぎの絵本 Op.113 ヒンデミット:ヴィオラとピアノのためのソナタ Op.25-4
フランク:ヴィオラ・ソナタ イ長調(原曲=ヴァイオリン・ソナタ)

【チケット(税込)】 好評発売中 一般:S 席4,000円/A 席3,000円/学生A 席1,000円 メンバーズ:S 席3,600円/A 席2,700円

profile 清水直子(しみず なおこ)

昭和学園大学でヴァイオリンを志す。江藤俊雄の各氏に、ヴィオラを岡田伸夫氏に師事。ヴィオラに転じ1993年研究科修了。94年よりドイツモルト音楽大学で今井信子氏に師事。97年ミュンヘン国際音楽コンクール・ヴィオラ部門にて、パシュメット以来2年ぶりの第1位を受賞。2001年2月よりベルリン・フィルハーモニー管弦楽団首席ヴィオラ奏者。その活躍ぶりは06年1月、毎日放送「情熱大陸」で取り上げられた。



Momo Kodama

児玉 桃 メシアン生誕100年に注ぐ “静かな情熱”

児玉 桃がライフワークのひとつとするフランスの作曲家、メシアン。2002年の《幼子イエスに注ぐ20のまなざし》全曲演奏会や05年の同曲のCDで、メシアン演奏の第一人者としてひととき鮮やかな印象を残した彼女が、メシアン生誕100年を記念するリサイタルで彩の国さいたま芸術劇場に登場する。気鋭のヴァイオリニスト、戸田弥生との《ヴァイオリンとピアノのための幻想曲》日本初演も聴きどころだ。

文=真嶋雄大(音楽評論家)

児玉桃が彩の国さいたま芸術劇場に再び登場する。顧みれば2003年10月、姉児玉麻里とのデュオピアノによるストラヴィンスキー《春の祭典》は語る言葉を失うほど鮮烈だった。またそれより以前「ピアニスト100」のステージに立った折も、煌々ような感性に圧倒された。

彼女のあくまで清冽なタッチは千紫万紅の彩りを帯び、それがグラデーションを描くように変化していくから麗郁たるファンタジーが織り上げられる。細部にまで木目細やかに神経を行き届かせ、閃きと理性が調和する極めてみずみずしい情感は彼女独特の発露だ。だからこそ彼女が向かい合うパッサから現代に至る作品たちには、須らく自然で芳醇な生命力が宿るのであろう。

さらに最近顕著なのは、メシアンに対する取り組みである。別けても2002年の《幼子イエスに注ぐ20のまなざし》全曲リサイタルや、2004年名古屋フィルのヨーロッパツアーで共演した《トゥーランガリラ》は各方面から絶賛された。前者は2005年CDでもリリリースされ、その凛とした演奏を目の当たりにできる。来年生誕100年を迎える20世紀フランスを代表する作曲家オリヴィエ・メシアン(1908～92)は、神学者や鳥類学者でもあり、独特のアプローチによる宗教曲を初めとする斬新な作品を数多く発表した。その未亡人であるイヴォンヌ・ロリオは優れたピアニストとして、また教育者としてパリ音楽院で数多の才能を育てている。

パリ音楽院に学んだ児玉桃は、ロリオと直接の師弟関係はないものの、12、13歳の頃から親しく交流し、助言なども得ていたというから作品解釈についても深く探求したのであろう。

今回演奏される《ヴァイオリンとピアノのための幻想曲》は、ロリオに託されて児玉が昨年のラ・ロック・ダンテロン音楽祭で世界初演を果たしたメシアンの未出版作品である。それがこの彩の国で戸田弥生と日本初演されるのだ。

戸田弥生の音楽は実に厳しい。それはスティックなどであるが、と同時に彼女は自身を持つふよやかな情感と精神的コントロール

を類希なバランス感覚で融合し、互いに際立たせる非凡なヴァイオリニストでもある。児玉桃と戸田弥生、突出した2つの個性が出会うとき、どんなにか華やかで、どんなにか内省的な音楽が紡がれていくのだろう。

加えてメシアンがこよなく愛し、その作曲家としての土壌ともなったドビュッシーとラヴェルが同じステージで演奏される。彼女のピアノから飛び立っていく音楽は、空間や次元を超えて私たちの心に深く刻まれるだろう。

フランス音楽の真髄を希求する演奏会になることは間違いない。

profile

児玉 桃 (こだま もも)

大阪生まれ、1歳で渡欧し、14歳よりパリ国立音楽院音楽修士工女史に専攻。13歳の時、最年少最優秀でパリ国立音楽院に入学。16歳でピアノと室内楽のクラスを首席賞全員一致のフルミネで卒業。セニガリア、エビタール国際コンクール第1位、ミュンヘン国際コンクールに最年少の19歳で第2位(1位なし)、1994年度アリン奨励賞、97年7回出光音楽賞。現在パリを拠点に、パッサからメシアンに至る幅広いレパートリーで活躍の場を広げている。



guest

戸田弥生 (とだ やよい)

1985年54回日本音楽コンクール第1位、桐朋学園大学音楽学部を首席卒業後、1992年アムステルダム・スウェーデン音楽院に留学。93年、エリーザベト王妃国際音楽コンクールに優勝して一躍注目を集める。96年にはニューヨークのジュリアード音楽院より「デレレイ・スカラシップ」を受け、1年間在籍。97年ニューヨークデビューを果たし、絶賛を受ける。室町楽器は、上野製琴株式会社より買収されている1740年製ピエトロ・ガルネリ。

●●●● MUSIC ●●●●

児玉 桃 ピアノ・リサイタル

～メシアン生誕100年を記念して～

【日時】2008年3月1日(土) 開演 14:00

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

【出演】ゲスト= 戸田弥生(ヴァイオリン)

【曲目】メシアン:《鳥のカタログ》より(クロサバヒタキ) ドビュッシー:《前奏曲集》より

ラヴェル:《夜のカタログ》

メシアン:《幼子イエスに注ぐ20のまなざし》より(よろこびの聖堂のまなざし) ほか

【チケット(税込)】 好評発売中

一般:S席4,000円/A席3,000円/学生A席1,000円 メンバーズ:S席3,600円/A席2,700円

✿ オリヴィエ・メシアン まろろど ~稀人からの恩寵~ ✿

メシアンは、単に20世紀を代表する大作曲家とだけでは括れない。高名な神学者でもあったし、宮沢賢治のように、音を聴くとある色彩を鮮烈に思い浮かべるといった特殊な能力も持っていた。また自然を愛し、鳥類学者として世界中の鳥の鳴き声を楽譜に残す、という前代未聞の偉業も残した。

日本でも1962年に軽井沢に赴き、当地の鳥の声を採録した。それもホトギスやウグイスなどの声を一種類ごと書き留めるのではない。鳴き方に様々なヴァリエーションがあり、地元の専門家ですら覚えられないような鳥たちが一斉にさえずる様子を、丸ごとオーケストラ用の巨大な楽譜に書き分け、

人々の度肝を抜いたのだ。そしてこのときの経験をもとに、メシアンは《7つの俳諧》という作品を生み出した。

彼は、鳥をテーマに作品を書くときはいつも、その鳴き声を忠実に再現するだけだという。だが実際にできた音楽は、本物の鳥以上に詩的で、哲学的で、愛があふれている。

演奏は困難を極めるメシアン作品だが、聴く者には何の難しさもない。目の前に広がる極彩色の世界にひたすら浸り、想像力のリミッターをはずせば、やがて至福の時が訪れるのだから。

文=長野隆人(フリーライター)

EVENT CALENDER 2007.11.15 - 2008.1.31

Calendar for November 2007. Days 15-23 are listed with event details such as 'CINEMA 彩の国シネマスタジオ『トスカ』' and 'MUSIC ヒアノ・エトワール・シリーズ Vol.3'.

12 December

Calendar for December 2007 and January 2008. Days 1-12 of December and 1-12 of January are listed with event details including 'MUSIC 光の庭プロムナード・コンサート' and 'PLAY 源氏語り五十四帖'.

Calendar for November 2007. Days 22-31 are listed with event details such as 'OTHER 『劇場体験ツアー』' and '臨時休館日(彩の国さいたま芸術劇場・熊谷会館)'.

1 January

Calendar for January 2008. Days 1-12 are listed with event details including 'MUSIC 埼玉会館ニューイヤー・コンサート' and 'TALK 彩の国さいたま芸術劇場 幸川 千の目'.

3才以上のお子さんから楽しんでいただける公演です。光の庭プロムナード・コンサートには年齢制限はありません。

前売りチケット発売情報(～2008.1.15)

『街のあかり』 CINEMA 彩の国シネマスタジオ. Includes a photo of the cast and details about the play, such as the cast list and ticket prices.

『しゃべれどもしゃべれども』 CINEMA 彩の国シネマスタジオ. Includes a photo of the cast and details about the play, such as the cast list and ticket prices.

MUSIC パッハ・コレギウム・ジャパン. Includes a photo of conductor Marco Borggreve and details about the concert, such as the program and ticket prices.

【チケットの購入方法について】 財回チケットセンター. Details about the ticket center, including the phone number 048-858-5511 and operating hours.

ACCESS MAP アクセスマップ. Includes three maps showing the location of the theater, Kyugyūkaikan, and Kugayukaikan relative to public transportation stations.

MUSIC 熊谷会館ファミリー・クラシック 仲道郁代 ピアノものがたり. Includes a photo of the pianist and details about the concert, such as the program and ticket prices.

MUSIC 諏訪内晶子 ヴァイオリン・リサイタル. Includes a photo of the violinist and details about the recital, such as the program and ticket prices.

MUSIC ブルーノ・レオナルド・ゲルバー ピアノ・リサイタル. Includes a photo of the pianist and details about the recital, such as the program and ticket prices.

●インターネット販売 ホームページ... ●インターネットでの販売期間... ●窓口販売... ●電話予約&販売... Details about various ticket purchasing methods.

発売中全公演情報 (11.16 ~)

PLAY

彩の国さいたま寄席 四季彩享 ~年末落語会

日時=12月15日(土) 開演18:00 会場=彩の国さいたま芸術劇場 小ホール
出演=春風亭昇太 春風亭柳好 柳貴家白雪 (大津楽曲芸)
※予定枚数終了いたしました。

彩の国シエクスピア・シリーズ第19弾 『リア王』

詳細はP.4 ~7にて

『身毒丸』復活

詳細はP.10 ~11にて

源氏語り五十四帖

詳細は下枠にて

DANCE

『日本昔ばなしのダンス』井手茂太/康本雅子

詳細はP.14にて

ヤン・ファープル『死の天使』

詳細はP.12 ~13にて

『videodance2008』

詳細はP.13にて

MUSIC

小山実稚恵 ピアノ・トリオ 夢の響演Ⅱ

日時=11月17日(土) 開演14:00

会場=彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
出演=小山実稚恵(ピアノ) 堀米ゆず子(ヴァイオリン) 堤剛(チェロ)
曲目=ブラームス:ピアノ三重奏曲第1番 口長調 Op.8ほか
料金=一般:S席4,000円/A席3,000円/学生A席1,000円
メンバーズ:S席3,600円/A席2,700円

ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.3

デイヴィッド・グレイルザンマー

日時=11月23日(金・祝) 開演14:00

会場=彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
曲目=モーツァルト:幻想曲ハ短調KV475 グラナドス:『ゴイスカス』より『愛と死』ほか
料金=一般:S席3,500円/A席2,500円/学生A席1,000円
メンバーズ:S席3,150円

SPECIAL PICK UP

『源氏語り五十四帖』

いよいよ「宇治十帖」の扉が開きます

年6回、9年をかけて「源氏物語」全54帖を読み解く「源氏語り五十四帖」。身近な言葉で難解な古典文学を現代に蘇らせる三田村雅子さんの解説と、紫式部の名文を(生きた古典の言葉)で語る幸田弘子さんの朗読によって、「源氏物語」の世界をより深くあじわい、楽しんでいただくという贅沢なシリーズも、すでに39回を数え、次回から光源氏亡き後の物語へと入ります。光源氏の「後継者」と目される薫と匂宮、対照的ともいえる性格の二人の成長を描きながら、物語は宇治が舞台の中心となる「宇治十帖」へとすすんでいきます。来年は、源氏千年記念となる年、あらためて「源氏物語」の世界を堪能されてみてはいかがでしょうか。

【日時】第40回「匂宮・紅梅」12月2日(日)

第41回「竹河」2008年1月13日(日)

第42回「橋姫」2008年3月16日(日) 各回開演14:00

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 小ホール

【チケット(税込)】新発売中 全席指定 1回券:2,500円 第40~42回連続券:6,600円



© 浅野いずみ

謹告

10月27日(土)に予定しておりました「白井光子&ハルトムート・ヘル リートデュオ・リサイタル」は、出演者ハルトムート・ヘル氏が右足くるぶし下の骨折により来日できなくなったため、公演を中止いたしました。ここに謹んでお詫び申し上げます。

ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.4 小菅 優

日時=12月9日(日) 開演15:00 会場=彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
※予定枚数終了いたしました。

埼玉会館ランチタイム・コンサート

第3回 新日本フィルハーモニー交響楽団

メンバーによる金管五重奏

日時=12月21日(金) 開演12:10(終演予定12:50) 会場=埼玉会館 大ホール
曲目=ピアノポント:ジングルベル マークス:赤鼻のトナカイ ほか
料金=全席指定1,000円

埼玉会館ニューイヤー・コンサート

ウィーン・リング・アンサンブル

詳細はP.16にて

清水直子 ヴィオラ・リサイタル

詳細はP.17にて

児玉 桃 ピアノ・リサイタル

詳細はP.18 ~19にて

CINEMA

彩の国シネマスタジオ『トスカ』(1976年/イタリア/116分)

日時=11月16日(金)11:00 / 14:00 / 19:00、17日(土)10:00 / 14:00 / 19:00
18日(日)11:00 / 14:00

会場=彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール 監督=ジャンフランコ・デ・ポント
料金=一般:前売2,300円/当日2,500円 メンバーズ:前売2,000円/当日2,500円

彩の国シネマスタジオ 河瀬直美監督作品特集『殢の森』・『萌の朱雀』

日時=12月7日(金)12:30 A / 16:00 B / 19:00 A

8日(土)10:00 A / 12:30 B / 16:00 A / 19:00 B

9日(日)10:00 A / 12:30 B / 16:00 A

A:『殢の森』(2007年/97分) B:『萌の朱雀』(1997年/95分)

※12/7(金)12:30上映回終了後、田島良一氏によるアフタートークあり

会場=彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール
料金=一般:前売1,000円/当日1,200円 小中高生:前売800円/当日1,000円
2作品セット券=一般:前売1,800円/当日2,100円 小中高生:前売1,500円/当日1,800円

彩の国シネマスタジオ 埼玉会館上映会

『終わりをければすべてよし』(2006年/日本/129分)

日時=12月20日(木)10:30 / 14:30 / 18:30

会場=埼玉会館 小ホール 監督・ナレーション=羽田澄子

料金=一般:前売1,000円/当日1,200円 小中高生:前売800円/当日1,000円

公演詳細は、財団ホームページ

<http://www.saf.or.jp/>にて

information インフォメーション

劇場体験ツアー

親子で体験!! 舞台の裏側はどうなってるの!?

今年は『奇跡のChristmas Present』

毎年大好評の「劇場体験ツアー」。普段はめったに上がれない、舞台上がってその裏側をのぞいたり、実際に使う機械に触ってみませんか? まさに劇場を体で感じるツアーです。

お芝居や音楽会に欠かせない、明かり(照明)や音(音響)、そしてセット(舞台装置)がどういう仕組みでどんな風に動くのか、みんなが触って動かしてみよう。

今年のテーマは、やっぱりクリスマス。パパとママにプレゼントを渡そうとした、ねずみのリエとねこのミカ。舞台のセットに隠したはずのプレゼントが見当たらず、さあたいへん。舞台の裏側に回って探しているうちに、とんでもないことが…! みんなも一緒に探してあげてね。クリスマスの素敵なおもてつけに、さあ集まれ!

【日時】12月22日(土) ~ 25日(火)

各日開演 11:00・15:00 (4日開演18:00)

※開場は各回ともに開演30分前。

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

【対象】小学生とその保護者

※原則として未就学児童のご参加はご遠慮いただいています。(有料託児サービスあり)。

※小学3年生未満のお子さまには必ず保護者がご同席ください。

※親子と一緒に楽しみたいけどツアーです。高学年のお子さまの場合でも、できるだけ保護者の方が一緒にご参加ください。

【定員】各回先着30名

【料金】500円(子ども・大人共通)※当日精算のみ

【受付開始日・申込み先】

11月23日(金・祝)から 048-858-5511にて



© 加藤英弘

information インフォメーション

彩の国さいたま芸術劇場 蛭川幸雄公開対談

NINAGAWA千の目 第12回

【日時】2008年1月6日(日) 開演13:00(約1時間)

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

【定員】776名(入場無料・要申込・本公演は指定席となります。)

演出家 蛭川幸雄

×

俳優

藤原竜也



藤原竜也(ふじわら たつや)

1997年「身毒丸」(蛭川幸雄演出)で初舞台を踏む。以後多くの蛭川演出舞台に出演している。また野田秀樹演出「オイル」「ロブ」、グレゴリー・ドラン演出「ヴェニスの人」などの舞台や、以後でも活躍しており、金子修介監督「デズノート」は大ヒットを記録した。第38回 朝日児童演劇賞 個人賞(2004年)、第3回 朝日舞台芸術賞 寺山修司賞(2004年)、第11回 読売演劇賞 優秀俳優賞・杉村春子賞(2004年)など、数々の賞を受賞している。

【申し込み方法】

ハガキに以下の事項を記入の上、締切日までにご応募ください。(応募多数の場合は、抽選を行います。この場合、入場券の発送をもって抽選結果の発表にかえさせていただきます。)なお、財団メンバーズの方への優先枠を設けております。

●記入事項

①郵便番号/住所 ②氏名(フリガナ) ③年齢

④会員番号(財団メンバーズの方)

⑤希望人数(1枚のハガキで2名様まで)

●応募締切

2007年12月14日(金) 当日消印有効

●応募先

〒338-8506 埼玉県さいたま市中央区上峰3-15-1 (財)埼玉県芸術文化振興財団「千の目」1/6入場券集係

●問合せ先

メンバーズ事務局 tel.048-858-5507

サポーター会員 H19.10 現在

(株) 与野フードセンター / (株) 亀屋 / 武州ガス (株) / (株) エフテック / (株) 松本商会 / (有) 香山壽夫建築研究所 / 埼玉新聞社 (株) テレビ埼玉ミュージック / 金井大道具 (株) / 埼玉りそな銀行 / (株) パシフィックアートセンター / アサヒ印刷 (株) / FM NACK 5 東京電力 (株) 埼玉支店 / 東京ガス (株) 埼玉支店 / 埼玉県信用農業協同組合連合会 / カヤバシステム マシナリー (株) / (株) 八木橋 (株) タムロン / (株) オメダム / (株) 十萬石ふくさや / 森平舞台機構 (株) / 日本データコム (株) / (株) ビルメン / 東芝ライテック (株) 埼玉トヨタ自動車 (株) / リズム時計工業 (株) / (有) 齋賀設計工務 / クレディ・アグリコル アセットマネジメント (株) ソシエテジェネラルアセットマネジメント (株) / ゲレツ・ジャパン・スズゼン (株) / (株) 武蔵野銀行 / 浦和ロイヤルパインズホテル (株) アルビオン / 国際照明 (株) / (株) 松永建設 / (株) サイサン 会長 川本 宜彦 / 三国コカ・コーラボリング (株) あいおい損害保険 (株) 埼玉営業部 / (株) ショーモン / 埼玉スバル自動車 (株) / (株) 木下フレンド / (株) 東玉 / 桶本興業 (株) (株) 佐伯紙工所 / (株) 太陽商工 / (株) しまむら / アイジャパン (株) / (株) ウム・ヴェルト・ジャパン / (有) 六辻ゴルフセンター (株) オリエント / 不動開発 (株) / (株) 明成 / ホッカイエムアイシー (株) / 埼玉縣信用金庫 / (有) 武蔵興産 / (株) 栗原運輸 (株) エコ計画 / 彩の国SPグループ / (有) プラネット / (株) イヤホンガイド / トキタ種苗 (株) / 関東自動車 (株) / 日本ピストンリング (株) (株) クマクラ / (株) デザン / 亀井産業 (株) / (株) グリーン企画社 / (有) 高信 / (株) 中島運輸 / (株) 国際ビジネス研究所 セントラル自動車技研 (株) / (株) Liviko / (株) アズマン / 太平洋セメント (株) / (株) ビー・アンド・イー・ディレクションズ 朝日新聞 伸光堂さいたま販売 (株) / 丸美屋食品工業 (株) / マツヤハウジング (株) / 日立キャピタル (株) 北関東営業本部 ボラズグループ / 伊田テクノス (株) / (株) リゾン / ひがし歯科 / 埼玉建興 (株) / (株) 日産サティオ埼玉

「サポーター会員」入会のご案内 埼玉県芸術文化振興財団では、財団の活動を支援していただける法人、団体又は個人の方を対象にサポーター会員の募集を行っています。【入会による特典】・劇場内サポーターボードへの会員名掲載 ・「埼玉アーツアター通信」やホームページへの会員名掲載 ・劇場内広報用パンフレットスタンドの利用 ・財団主催公演へのご招待 その他【年会費】1口 10万円(有効期間は、入会月から1年間となります。) 【事務局(問い合わせ先)】(財)埼玉県芸術文化振興財団 営業宣伝課 サポーター会員担当 TEL.048-858-5500(代)

今日は、初舞台「リア王」にむけのボイストレーニングの日。最初は、ボイトして大きな声を出せるように腹筋を鍛えたり、滑舌をよくする訓練をするものだと涼然と考えていたけれど、私が教わっている先生のトレーニングは全く違っていて、自分の心や体と向き合い、精神と肉体を一致させて、本当の感情を言葉に乗せていくもの。自分の心に嘘をついて、さわべと言葉を出すとは自分でも違和感があり、すぐにバレてしまう。レッスン数回目で、いまなり大きな声や、自分で知らなかつた声が出るようになり、自分の中にこんな声があったんだ! と発見してワクワクしている。

その後、以前から観たがった嵯川幸雄さんの舞台「オセロー」を観劇。舞台は、登場人物全てをいろいろな視点から客観的に観ることが出来るのが魅力だけれど、特に嵯川さんの舞台は、キャラクター一人が強い存在感を持ち、バツクボーングを感じられて、それぞれの人物に感情移入してしまいました。

吉田鋼太郎さんのオセローは、雄々しく、立派で本当にかっこよくて、だからこそ、そんな破がとんとん崩れていく落差が凄だっという。荒井優さんのデズデモナーは、可憐で美しく、無垢心がフロートに伝わってくる。二人の結末は悲劇的なものだったけれど、自分を壊さざるを得ないほどに深く人を愛したオセローと、オセローの急変に戸惑いと深い哀しみを感じながらも、最後まで破を許し、愛と信念を貫き通したデズデモナーの人生は、ある意味、とても幸せだったのではとすらやましくも感じた…。私が今度演じる「リア王」のコーディリアの無垢で、信念を貫き通す強さはデズデモナーと重なる部分がある。自分が舞台上に立って、どうなっていくのか、どこまでいけるのか、緊張感とともにますます期待と涼しみがふくらんで、本当に観てよかったと実感した。

私も、自分の感情と肉体と一致させ、嘘ではない自分をお客さんに届けられたら! そして、毎日同じ舞台で、同じ人生を何度か生きることでできる役者の喜びをたくさん味わいたい。お客さんと一体になって、舞台の空間を生きたいと強く強く感じた一日。

Artist Diary

ボイトLの日 10月4日 木曜日

文 = 内山理名

イラスト = 竹井千佳

